

# 物部川清流保全推進協議会

## 第 17 回代かき濁水対策を進めるWG 議事要旨

日時：令和 6 年 7 月 19 日（金）13:30～15:00

場所：高知県立野市青少年センター 会議室 C（香南市野市町西野）

参加者数：14 名

参加団体等：高知河川国道事務所物部川出張所、南国市（農林水産課、企画課）、香南市（農林水産課）、香美市（定住推進課、農林課）、高知県（農業基盤課、中央東農業振興センター）、物部川漁業協同組合、物部川 21 世紀の森と水の会、山田堰井筋土地改良区、物部川清流保全推進協議会、事務局（高知県自然共生課）

### 1 議題

- (1) 2024 年春の濁度調査結果について（報告）
- (2) 濁水対策（浅水代かきの普及モデル地区での取組）について（協議）
- (3) その他情報共有

### 2 資料

資料 1 令和 6 年度の代かき濁水対策を進めるワーキングの取組について

資料 2 物部川濁度調査結果（2024 年春調査）

資料 3 せせらぎ水路付近地図

参考資料 1～5

四十万十川定期濁度調査結果（H31～R6.4 の比較）、農業濁水流出軽減に向けた実証実験結果（令和 6 年度実施分）、浅水代かき啓発チラシ、第 16 回代かき濁水対策 WG 議事要旨、令和 6 年度個別計画事案の概要

### 3 協議結果(今後の取組の方向性等)

#### ◎まとめ

以下、(1)～(5)の協議結果に基づき、今年度の止水板パネル等の製作は一旦保留とし、より効果的な活動を目指し、農業関係者等との協議のうえ、今後の取り組み内容を決定する。

- (1) 止水板パネルの製作については、使用する側の農業従事者等の意見を取り入れるために物部川土地改良区連合や JA と協議のうえ決定していく。
- (2) 農業を行う組織側で止水板の作成などに取り組んでもらうことができないか、物部川土地改良区連合、JA、流域自治体の農林関係部署、県農業関係部署の協力を得て農業組織への働きかけを行っていく。
- (3) 看板設置やチラシ配布等により、物部川で「困っていること」や「今回の取り組み」を周知したうえで止水板設置を進めることで、皆で取り組んでいることが目で見てわかるようにし、皆が取り組むきっかけ作りとする。
- (4) 止水板パネル等製作にかかる予算の確保について、民間事業者からの寄付によることは保留とし、物部川ふるさと交流推進協議会など地元団体で協議の上決定していく。
- (5) 浅水代かき普及モデル地区の選定については、物部川土地改良区合、JA、香南市と協議のうえ、次回の WG までに共有する。

【議題(1)(2)の概要】

<p>事務局</p>	<p>1. 2024年春の濁度調査結果について（報告）</p> <p>◆調査結果概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年3月から4月までに計8回、5地点（山田堰、高川原、せせらぎ水路、本川、後川）にて濁度調査を実施した。</li> <li>・山田堰、本川の代かき後の濁度は昨年度に比べて低い結果となった。</li> <li>・昨年度、大栃の3月4月の降水量が多かったことも要因としてあるが、昨年度に比べて同時期の濁度が低い結果となった。</li> </ul>
<p>主な意見</p>	<p>○畑の土による濁水の流入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本川における濁度について、時間雨量20mm～30mmほどの雨が降った直後にひどく濁った水が流入するのを目視で確認した。これは、水田からの濁水ではなく生姜畑などのむき出しの土が雨によって流されることによる濁水と考える。夕立の直後に水路などを見ることで、どのように濁りが発生するのか確認できるはずなので、特に香美市の農林課などには実際に現場を見ていただきたい。</li> </ul> <p>○刈り草の流入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本川には濁水だけでなく、刈りとった草など様々なものが流れてきており、漁業をする上での影響が大きい。刈った草は一時的に川に流れない場所に保管するなどの対策が必要と考える。これについても、一度現場を見ていただきたい。</li> <li>・当事者は意識をせずにやっていることもあるため、注意をすれば改善される可能性もあると思う。このような会の場で行った意見として、流域団体から声かけを行っていただきたい。</li> </ul> <p>○片地川からの濁水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に伴う濁水かは不明だが、ここ2～3年は少しの雨で赤土を流したようなひどい濁水が流入している。</li> </ul>
<p>事務局</p> <p>南国市 香南市 香美市</p> <p>県（自然共生課） 事務局</p>	<p>2. 濁水対策（浅水代かきの普及モデル地区での取組）について（協議）</p> <p>◆流域3市及び県普及啓発内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市広報誌令和6年3月号に啓発記事を掲載した。</li> <li>・香南市広報誌令和6年2月号に啓発記事を掲載した。</li> <li>・香美市広報誌令和6年3月号に啓発記事を掲載した。</li> <li>・2月中旬から1ヶ月間、香美市役所本庁舎1階にて物部川環境学習動画を放映（7月は香美市役所本庁舎及び香北支所にて放映、8月は物部支所で放映予定）</li> <li>・高知県広報誌令和6年4月号に啓発記事を掲載した。</li> <li>・このほか、春にJAが浅水代かき実践会を実施し、県中央東農業振興センターがチラシ配布などにより参加者に直接啓発を実施した。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>◆止水板パネル等の製作・配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・止水板パネルの製作・配布、看板製作、チラシ製作・配布を想定</li> <li>・必要経費等の試算は資料1「3予算の確保状況について」のとおり</li> </ul>
<p>主な意見</p>	<p>○止水板パネルの製作・配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に使用する農家の意見を聞いた上でサイズ設定等をすべき</li> </ul> <p>→（事務局）</p>

	<p>田によって、取水口のサイズが異なり全てに対応するというのは難しい。大きすぎると枠にはまらず使用できないが、小さければ継ぎ足して使用することも可能と考える。また、サイズが合わず使用できない場合でも、趣旨を踏まえて田に刺すなどして啓発物として使用してもらいたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山本氏（物部川土地改良区連合）に農家を紹介してもらい、使用する側の意見を取り入れるべき。</li> <li>・パネルを製作して配布するのが最善か。JA など使用する側に近い組織に話をもちかけて、お金を使っただけではできないか。</li> </ul> <p>→（事務局）</p> <p>使用する側で動いていただくことは重要であるため、働きかけは行っていくべきだと考えるが、止水板の作成については、本 WG による踏み込んだ取り組みとして、協議会として取り組もうとしているもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業組織（農業を行う側）に対して、県の多面的機能支払交付金は交付されていると思う。各組織において止水板作成の意義等を理解いただければ、交付金を活用して各組織に取り組んでもらうという協力が得られる可能性があるのではないか。</li> </ul> <p>→（事務局）</p> <p>物部川土地改良区連合、JA、流域自治体の農林関係部署、県農業振興センター、県農業政策課の協力を得て農業組織への働きかけを行っていく。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆止水板パネル等の製作にかかる予算の確保について <ul style="list-style-type: none"> <li>・物部川流域ふるさと交流推進協議会からの助成金</li> <li>・民間事業者から流域団体（物部川 21 世紀の森と水の会）への寄付金</li> </ul> </li> </ul> <p>→県から同社に物部川の支援を打診したところ協力は得られなかったが、民間団体が取り組む清流保全活動については協力可能との方針であるため、物部川 21 世紀の森と水の会から寄付申請等の手続きを行っていただき、本協議会の取り組みに寄付金を活用させていただきたい。</p>
物部川 21 世紀の森と水の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○止水板パネル等の製作にかかる予算の確保について <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者の寄付金に頼るのではなく、地元の問題は地元団体が協力して解決していきたい思いがある。お金の工面については、物部川ふるさと交流推進協議会なども含めて地元団体に検討していきたい。</li> </ul> </li> </ul> <p>→（事務局）</p> <p>予算の確保についての議論は一旦保留させていただき、今年度の事業実施も現段階では保留としたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆浅水代かき普及モデル地区の選定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 3 の地図のエリアからモデル地区を選定する。</li> <li>・せせらぎ水路の水が川に流入する地点の上流をターゲットにしてはどうか。</li> </ul> </li> </ul>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浅水代かき普及モデル地区の選定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのエリアで、誰が、何をしているかが重要であり、それらを把握している物部川土地改良区連合や JA に状況を聞いて決めていく必要がある。効果的な場所や協力いただけそうな農家等を物部川土地改良区連合や JA に考えてもらっては</li> </ul> </li> </ul>

<p>事務局</p> <p>主な意見</p>	<p>どうか。 →（事務局） 物部川土地改良区合、JA、香南市と協議をして次回のWGまでに共有する。</p> <p>◆止水板のキャッチフリーズについて ・止水板に記載するキャッチフリーズについて提案をいただきたい。</p> <p>○止水板のキャッチフリーズについて ・資料1「5啓発用止水板等へ記載するキャッチフリーズについて」の例の中にある「土や肥料がもったいない ストップ！濁水！」のようなキャッチフリーズは農業従事者からすれば余計なお世話の話。なぜ、濁水対策に取り組む必要があるのか、そもそもの目的を上手に伝え、協力を促していくべき。</p>
------------------------	--

**【(3)その他情報共有など】**

事務局	◆参考資料1～5について共有
-----	----------------

閉会